

平成30年度 かほく市立河北台中学校 学校評価最終報告書 (1/4)

重点目標	自己評価			達成度		今後の方向 (改善策等)	学校関係者評価 (学校関係者評価者による意見)		
	具体的取組	評価の観点	達成度判断基準	取組状況	H30.7			H30.12	
1 確かな学力の育成 ★かほく市重点目標1.5 に該当	①★	生徒が主体的に取り組み、より確かな学力を身につけることができるよう「わかる授業」「楽しい授業」を推進する。	【努力の指標】 日頃から課題解決型の授業、学習意欲を喚起する授業づくりができています。	【教職員アンケート】 A:100% B:95%以上 C:90%以上95%以下 D:89%以下	「河北台授業モデル」について共通理解し、ゴールが見える予想が立てやすい課題の提示や話し合い活動の工夫、課題との整合性に留意したまとめについて共通実践している。 聴く力の育成を研究の重点とし、聴き方のモデルを示し共通実践している。	100 A	95 B	各教科ごとに「生徒が主体的に取り組める課題」について吟味し、実践・検証する。 自習コーナーを活用させたり、1.2年生の小テスト等を通じて、学習に主体的に取り組む雰囲気作りをする。	・学校が子どもたちに確かな学力をつけるために、授業づくり工夫を重ね、努力を続けていることを評価したい。恵まれた学校の環境を生かした特色ある取組をさらに充実させてほしい。
			【満足の指標】 子どもと家庭で授業についての話題がある。	【保護者アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下		86 B	83 B		
	②★	授業を支える学習規律が確実に身に付くよう指導を徹底する。	【努力の指標】 授業において、しっかりした礼、返事、大きな声などの学習規律を定着させている。	【教職員アンケート】 A:100% B:95%以上 C:90%以上95%以下 D:89%以下	学期の始めに学習ルール強化週間を実施し意識付けを図るとともに、各学年のプログラム委員会による主体的な活動にも取り組んでいる。全校集会での全体指導も毎月行っている。	91 C	89 D	学年プログラム委員会の活動の充実により、生徒自らが学習規律を意識し、主体的に取り組めるようになる。 教師自身の強化月間を設けるなど、教師への意識付けを図ると共に、その場その場の指導を全教師で徹底する。	・授業を参観したが、子どもたちは落ち着いて姿勢良く授業を受けており、これまでの指導の成果が感じられる。学習規律については、教職員による指導の差がないよう、粘り強く指導をお願いしたい。
			【努力の指標】 授業において、しっかりしたあいさつ、姿勢、聴き方などを心がけた。	【生徒アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下		88 B	83 C		
		各教科や学年で必要に応じて家庭学習課題を与え、家庭学習の習慣を維持させる。	【成果の指標】 生徒の家庭学習の定着と充実に向け、具体的に対策を講じている。	【教職員アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下	週末課題を各学年のホワイトボードに記載し、見直しを持って取り組めるように配慮している。 提出ができない生徒については、放課後に個別指導を行うなど、取組の徹底を図っている。 生活ノートに学習時間帯を帰りホームに記載させ、計画的に家庭学習に取り組めるように指導している。	87 B	84 C	週末課題ができない生徒が固定化しつつあり、計画的に取り組めるように、早めの声かけや個別指導を行う。 家庭でのメールやゲームの時間の長さが家庭学習時間確保の障害となっていることから、保護者への協力を学校便り等を通じて行う。 かほく市中学校ネットルール宣言を遵守するように生徒会を通じて生徒につたえていく。	・週末課題等、生徒が家庭で目当てを持って学習しやすいように工夫されており、家庭学習の習慣化を図る取組がしっかりされている。生徒によって取組に差があると思うが、粘り強く指導していただきたい。家庭と連携した取組も考え、学習習慣の定着に向けた取組を徹底してほしい。
	【成果の指標】 自分で計画を立てて勉強している。	【生徒アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下	76 B	72 B					
	【満足の指標】 子どもは、自分で計画を立てて勉強している。	【保護者アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下	58 B	59 B					
	③	校内研修を充実させ、生徒の活用力、教師の指導力の向上をめざす授業実践に取り組む。	【努力の指標】 「まとめ」の活動を取り入れた授業づくりができています。	【教職員アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下	河北台授業モデルにより、課題との整合性のあるまとめを工夫している。また、相互授業参観を実施し、指導力向上に努めている。	87 B	89 B	4月の学力調査に向けての弱点強化を各教科・学年で実践する。 教科ヒアリングを実施し、各教科の今年度の成果と課題を検証し、次年度につなげる。	・教師全員が研究授業を行うなど、指導力の向上に向けて、研修会等で充実を図っている様子がわかる。継続し学力向上につながることを期待する。
			【成果の指標】 各種テストの分析に基づき、学力の補充や授業改善などの方策を講じている。	【教職員アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下		83 A	89 A		

平成30年度 かほく市立河北台中学校 学校評価最終報告書 (2/4)

重点目標	具体的取組	自己評価		取組状況	達成度		今後の方向 (改善策等)	学校関係者評価 (学校関係者評価者による意見)
		評価の観点	達成度判断基準		H30.7	H30.12		
2 豊かな心の育成 ★かほく市重点目標2に 該当	① 道徳の時間の授業時数を確保し、併せて教科等でも人権について指導を行い、意識を高め行動できるよう	【成果の指標】 道徳の授業を確保し、道徳心や人権意識など心の教育に努力している。 (授業時数・こころの掲示)	【教職員アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下	学年ごとに毎月の取組内容を確認し、週案等で実施を確認している。11月3日の授業参観では、全学級で道徳の公開授業を実施し、保護者・地域の方に取組の様子を理解していただいている。	100	100	道徳掲示の充実や毎月の重点取組を通して、道徳心や人権意識をさらに育みたい。 全校集会や学年集会での指導を通して、いじめに対する意識もさらに高めたい。 ワークシートを工夫し、生徒に自分の考えを出させ	・教科化にむけての取組を進めているとのことだが、生徒の道徳観の確立を家庭とも連携し進めほしい。日頃の考え方や行動を振り返ることを通して、自分を振り返る時間、他の考えに触れる機会を大切にして、さらに道徳教育を推進してもらいたい。
		【満足の指標】 道徳の時間で自分の日頃の考え方や行動を振り返ることができた。	【生徒アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下		88	88		
	② 生徒会執行部を中心に様々な取り組みが企画され、やり遂げることによって得られる生徒集団の向上と個人の成長。 ★	【努力の指標】 生徒にボランティア活動の積極的な参加を促すなどの推進に努めている。	【教職員アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下	生徒会によるボランティア活動だけでなく、今年度立ち上がった「かほく市中学生ボランティアサークル」が中心となり、今後新しい取組を企画し、取り組んでいくこととしている。	78	95	ボランティア活動の充実に向け、JRC委員会が中心となって取り組む活動や市のジュニアボランティアサークルへの積極的な参加を呼びかける。 委員会活動の切り替わりにあたり、改めて日常活動の徹底を図る。	・ジュニアボランティアサークルが定期的に活動し、そのことが全校に紹介されることにより、生徒の間にボランティアに関する意識が高まったと思う。ペットボトルキャップやプルタブ集め、独居老人宅訪問など多方面にわたってボランティア活動を推進している様子が見えた。さらに活動を進めてもらいたい。
		【満足の指標】 委員会活動や学級活動に積極的に参加している。	【生徒アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下		84	87		
③	計画的に読書の時間を設定し、生徒が本に触れる時間を確保する。	【成果の指標】 読書活動の充実や図書館の活用努力している。	【教職員アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下	ボランティアサークルの方による読み聞かせを実施すると共に、読書関係の掲示の充実を図っている。	83	79	図書ボランティアを募集し、図書委員、図書館司書とともに図書館利用がより活性化するように策を検討し、実践する。	・定期的な読み聞かせボランティアを活用するなど、読書活動の充実がみられる。豊かな心の育成のためにも、これからも読書活動を推進してほしい。
3 健康な心身の成長 ★かほく市重点目標3に 該当	① 食に関する指導を計画的に実施し、食の重要性への意識を高めるとともに、朝ご飯を確実に摂取させる。	【成果の指標】 食に関する指導、啓発に努めている。	【教職員アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下	栄養教諭による食育指導と共に、各学級でしっかりと盛り盛り、食べきる指導を学級担任が行っているが、残菜量は市内中学校の中では多い。 食事の大切さについては、給食日より、保健日より等を通じて、保護者	100	100	朝食の摂取率が100%になるように、全校集会やPTA総会等で講話を行い、保護者・生徒に対しての啓発を行う。(全校集会、学校便り、ホームページ等)	・栄養教諭を中心に、食に関する指導を計画的に実施しており、教職員の食育に対する意識が高いことが伺える。朝食の摂取率が100%になるように生徒や保護者に対して引き続き粘り強く啓発を図ってもらいたい。
		【成果の指標】 毎日朝食をとっている。	【生徒・保護者アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下		(保) 93 B (生) 94 A	96 B 93 B		
	② 生徒の安全に関する職員の危機管理意識の向上。	【成果の指標】 登下校の交通マナーや不審者対応など、日頃から安全指導に努めている。	【教職員アンケート】 A:100% B:95%以上 C:90%以上95%以下 D:89%以下	横に広がって歩道を歩くなど、マナーの悪さの指摘が数件あり、定期的に朝夕の巡回を実施している。 昼休みの校内巡視等、危険な行為の未然防止に努めている。	100	100	定期的な校内巡回指導、校外巡回指導を実施すると共に、地震・火災だけではなく、不審者対応を想定した訓練を実施し、もしもの場合に備える。	
		【成果の指標】 登下校での交通マナーを守っている。	【生徒アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下		97	98		

平成30年度 かほく市立河北台中学校 学校評価最終報告書 (3/4)

重点目標	自己評価			達成度		今後の方向 (改善策等)	学校関係者評価 (学校関係者評価者による意見)		
	具体的取組	評価の観点	達成度判断基準	取組状況	H30.7			H30.12	
3 健康な心身の成長	③	【努力の指標】 部活動を通して、困難を乗り越える強い心と体を育てる。	【努力の指標】 部活動で生徒の意欲を高め、活動の活性化及び充実した活動になるよう努めている。	【教職員アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下	部活動は、強い体づくり、協力、思いやり、やりきる力など、人間性を高める大切な活動であることを共通理解し、日々熱心に取り組み、素晴らしい実績を上げている。 大会成績だけでなく、素晴らしい取組なども取り上げている。	100 A	100 A	新年度のスタートにあたり、キャプテンを集めて、改めて部活動の意義と目指す姿について再度指導する。 週2回の休養日の徹底を図るとともに、効率的な練習方法を工夫する。また、教員が少しでも時間的な余裕が持てるように配慮する。	・生徒たちにとって部活動は健全な心身の育成と、良好な人間関係を築くうえで、部活動の果たす役割は大きい。文武両道が成されるようにこれからも指導をお願いしたい。
		【成果の指標】 部活動や校外活動でより高い目標をもって意欲的に取り組んでいる。	【生徒アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下	校外活動についてもその取組の様子を積極的に評価し、意欲を高めるようにしている。	87 B	87 B			
		【満足の指標】 子どもは部活動や校外活動に進んで参加している。	【保護者アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下		91 B	87 B			
4 積極的な生徒指導の推進 ★かほく市重点目標2に該当	①★	毎月の生活アンケートやQ-U調査、日常の生徒観察などから、生徒理解を深め、生徒と教師のより深い信頼関係を築き育てる。	【努力の指標】 生徒理解を大切にし生徒との信頼関係の構築に努力している。	【教職員アンケート】 A:100% B:95%以上 C:90%以上95%以下 D:89%以下	毎月、生徒アンケートや屋の巡回指導、生活ノート等を通して生徒理解に努めると共に、悩み等には、すぐに対応する。 QU調査については、学年団で分析して、各学級の状況や気になる生徒、対応策について理解し、共通実践している。 不登校生については、関係教員が連携し、状況に応じて教室復帰に向けて個別に対応している。	96 B	89 D	不登校生徒については、教育相談担当を中心に、個々の状況に応じた的確に対応する。 毎月のアンケートによる相談については、解消後の経過についても継続して見守る。 不登校生徒に対しては、個別の復帰プログラムを作成して取り組む。	・生徒理解のために期間を設けて計画的・定期的に教育相談の時間を設け、丁寧に実施している様子が分かった。今後も生徒に寄り添い、人間関係を築いていってほしい。
			【満足の指標】 自分の思い、悩みを聞いてくれる人(先生、友達、家族)がいる。	【生徒アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下		86 B	90 B		
			【努力の指標】 不登校生徒等の個別の支援計画に基づいた指導を行っている。	【教職員アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下		100 A	100 A		
	②	あいさつ日本一をめざす中で身なりを整える、時間を守る、返事や感謝の言葉が言えるなど基本的な生活習慣を育て身につける。	【努力の指標】 生徒の「あいさつ」など基本的な生活習慣の定着を図るため努力している。	【教職員アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下	生徒会が中心となつて、校内でのあいさつはもとより、地域でも積極的にあいさつするための「挨拶協定」を七小、外小と締結し、挨拶運動等の取り組みを進めている。 身なり、時間厳守(遅刻、2分前ベル学)等については、個別指導、その場その場での指導を徹底している。生徒会でも挨拶運動を年間通して行っている。	92 B	84 C	生徒会執行部、生活委員会が中心となつた挨拶運動を引き続き行うと共に挨拶の素晴らしい生徒を全体の場で褒めるなど、生徒の挨拶に対する意識や意欲を高める。 遅刻やぎりぎりに登校する生徒は固定化しており、家庭と連携しながら、少しでも早く登校するように粘り強く指導を続ける。	・白尾地区で生徒が元気にあいさつをしてくれる様子が見られ、地域住民として大変喜ばしい。学校だけではなく、地域でもあいさつをしていこうという取組がしっかりと実を結んでいると感じた。河北台のいい評判も積極的に生徒たちに伝えてあげてほしい。そして、さらに河北台生の善行が他の生徒にも広まってほしいと期待している。
			【成果の指標】 学校、家庭、地域であいさつができています。 (生徒会チェック、アンケート)	【生徒アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下		93 B	92 B		
			【満足の指標】 子どもは、家庭でしっかりあいさつしている。 (河中生のさわやかあいさつの広報)	【保護者アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下		81 B	80 B		
	③★	問題等が発生したときに、保護者との連携を十分にとりながら組織的に迅速な対応をする。	【努力の指標】 保護者の協力が得られるように家庭との連絡などの情報交換は確実にしている。	【教職員アンケート】 A:100% B:95%以上 C:90%以上95%以下 D:89%以下	小さなことでも、教師間の「報告・連絡・相談」を徹底し、迅速に対応している。	100 A	100 A	緊急性のある事案は、生徒指導委員会等を待たずに、生徒指導主事や管理職に報告し、迅速に対応する。	

平成30年度 かほく市立河北台中学校 学校評価最終報告書 (4/4)

重点目標	自 己 評 価				達成度		今後の方向 (改善策等)	学校関係者評価 (学校関係者評価者による意見)
	具体的取組	評価の観点	達成度判断基準	取組状況	H30.7	H30.12		
5 特別支援教育の充実 ★かほく市重点目標4に該当	① 支援が必要な生徒の共通理解と指導及び保護者との連携の強化	【成果の指標】 生徒理解研修会などをもとに支援が必要な生徒と適切に関わった	【教職員アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下	月一回の全職員での共通理解と毎週1回の関係者の情報交換会を行い、現状の確認と本人への対応、保護者への対応等について共通理解を図っている。	96 B	94 B	今後も児童相談所や石川特別支援学校、市の子育て支援課など、外部の機関と連携しながら、個別支援のあり方を探り、全教職員で取り組む。 研修の機会を設け、障害に応じた対応方法を学習する。	・ランチミーティングなどの会議を企画し、支援が必要な生徒の共通理解を図るなど、特別支援コーディネーターが役割を果たしている。保護者とも十分連携して取組を進めてもらいたい。
	② コーディネーターを中心とした研修体制の充実	【成果の指標】 生徒の障害の程度やつまづきに応じた関わり方ができている。	【教職員アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下	地域支援サポート教員等の専門家からもアドバイスを受け、全校で共有して取り組みを進めている。	100 B	94 C		
6 開かれた学校づくり ★かほく市重点目標5に該当	①★ 定期的な学校通信やホームページなどを利用し積極的に学校の情報を発信する	【成果の指標】 学校からの各種「○○たより」などの配布物は、確実に家の人に渡している。	【生徒アンケート】 A:100% B:95%以上 C:90%以上95%以下 D:89%以下	毎日数回ホームページを更新し、学校の活動の様子を写真入りでアップしている。 また、学校便利については、閲覧板を通じて河北台中校区全戸に回覧している。	86 D	81 C	引き続き、ホームページ、各種便り、いいメールかほく等を通じて積極的に学校の様子や活動を発信し、保護者や地域の方に理解してもらえるように努める。	・ホームページの閲覧数がかなり伸びている。こまめな更新により、学校の取組や生徒の様子が伝わり、開かれた学校づくりの推進につながっている。今後も様々な取組についてホームページや学校便りを通じて発信してもらいたい。
		【成果の指標】 学校だよりや学年だより、ホームページなどで、学校の指導方針や子どもたちの様子などが分かりやすく伝わってくる。	【保護者アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下	いじめの未然防止や早期発見・早期対応の取り組みについても、学校便りや学年便り、ホームページを通じて発信している。	95 B	94 B		
		【成果の指標】 学校におけるいじめの未然防止や早期発見のための取り組みが伝わってくる。	【保護者アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下		69 A	63 B		
	② コーディネーターと連携し学校評価の公開と効果的な活用を図る	【成果の指標】 学校からの定期的な各種たよりやホームページは、本校の教育活動をわかりやすい内容で公開している。	【教職員アンケート】 A:5%以上の向上 B:上下5%未満 C:5%以上未満の低下 D:10%以上の低下	学校評価を受け、各分掌等で改善策を検討・実施すると共に、結果を評価し、学校便り等で保護者に報告している。	100 A	100 A	分析と改善策について、学校便りやホームページで公開し、周知を図る。	